

国土地理院 入札監視委員会定例会議 議事概要

開催日及び場所	令和4年7月28日(木) 国土地理院関東地方測量部会議室		
委員名簿(4名)	委員長 <small>おくち たかし</small> 小口 高 (東京大学 空間情報科学研究センター教授) 委員長代理 <small>あらや あきと</small> 新谷 昌人 (東京大学 地震研究所附属観測開発基盤センター教授) 委員 <small>たにもと せいじ</small> 谷本 誠司 (弁護士) 委員 <small>かせ ゆたか</small> 加瀬 豊 (公認会計士)		
審議対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
抽出事案	総件数 8件	(備考)	
測量業務	4件	審議案件は別紙1のとおり	
内訳	簡易公募型競争入札方式		1件
	簡易公募型競争入札方式(総合評価落札方式)		2件
	簡易公募型プロポーザル方式		1件
物品・役務	4件		
内訳	一般競争入札方式		2件
	企画競争入札方式		1件
	随意契約方式	1件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答	
	別紙2のとおり	別紙2のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

審議案件詳細

【測量業務】

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
①	簡易公募型競争入札方式	成果不整合地域における基準点改測（埼玉県小鹿野地区ほか1地区）	基準点測量	4	4	令和3年9月9日	ジオブラ・エビスワ・タハラ測量共同企業体	1,430	50.2%	
②	簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）	航空レーザ測量及び三次元点群データ等整備（中国1地区）	写真測量	10	9	令和4年2月21日	（株）パスコ	53,900	98.2%	
③	簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）	全国活断層帯情報整備に関する調査	地理調査	1	1	令和3年4月14日	国土・地域開発共同企業体	28,050	95.3%	

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
④	簡易公募型プロポーザル方式	令和3年度地理情報標準及び海外の3次元測量制度に関する調査検討業務	調査研究	1	1	令和3年8月6日	（公財）日本測量調査技術協会	14,476	99.9%	

【役務の提供等及び物品の製造等】

	入札方式	業務名		競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
⑤	一般競争入札方式	G N S S 連続観測システムの改造（通信機能の強化）	役務の提供等	1	1	令和3年7月8日	日立造船株式会社	354,200	99.8%	
⑥	一般競争入札方式	標高精度評価プログラム整備業務	役務の提供等	1	1	令和3年8月18日	日本総合システム株式会社	13,090	93.6%	

	入札方式	業務名	業務種別	企画提案書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
⑦	企画競争入札方式	統合災害情報システムの機能改良業務	役務の提供等	1	1	令和3年6月9日	日本アイ・ビー・エム株式会社	79,781	99.2%	

	入札方式	業務名	業務種別	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備考
⑧	随意契約方式	ソフトウェア（P C - M A P P I N G）の保守	役務の提供等	令和3年4月1日	株式会社マブコン	10,087	100.0%	

意見・質問	回 答
<p>1. 定例報告</p> <p>(1) 令和3年度発注物件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>(3) その他</p> <p>①設計変更に伴う契約変更</p> <p>②一者応札契約の状況</p> <p>③一者応札が続いている契約案件の適正な契約方式への移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	
<p>2. 抽出事案の審議</p> <p><測量業務></p> <p>簡易公募型競争入札方式</p> <p>① 成果不整合地域における基準点改測 (埼玉県小鹿野地区ほか1地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指名するための審議資料の評価項目に「本店の所在」があるが評価に影響してくるのか。 ・ 入札参加4者の入札金額に最高と最低で3倍くらいのバラツキがあるのは何故か。 ・ 入札金額のバラツキを踏まえ、予定価格の算定方法を修正すべき点があるのか見解を伺いたい。 ・ 簡易公募型競争入札では、落札率5割程度のものが見受けられるが、総合評価落札方式では落札率が8割を超える傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業地域に一定の知見を有していると、業務を実施する上で効率的であり安全面でも有効であるため、加対象としている。 ・ 類似業務の受注実績、技術者の確保、企業の考え方等によりバラツキが出たと推測される。 ・ 入札参加者に提示している積算基準に基づき算定すれば、適正な金額になるものと考え。 ・ 予定価格が1千万円を超える場合は、低入札価格調査の対象となる。調査基準価格は予定価格の約8割であり、8割を

意見・質問	回 答
<p>なのは何故か。</p>	<p>下回る入札額の場合は、多くの場合が辞退するためと考える。</p>
<p>簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）</p> <p>② 航空レーザ測量及び三次元点群データ等整備（中国1地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 価格点と技術点が1対1になっておらずアンバランスではないか。 ・ 履行確実性調査により、確実に履行できると確認するのであれば、入札額が安い方が良いのではないか。 ・ 技術点のそれぞれの項目について、評価点を変える余地はあるのか。 ・ 評価表で国土地理院の業務実績の有無が加点項目になっているが、必須なのか。これで加点されると、ますます価格点とのバランスが悪くなるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の仕方は国土交通省のガイドラインで決まっている。 ・ 公共工事の品質確保の促進に関する法律により、基本的には経済性を考慮しつつ定められた条件の中で、より良い成果を得るという考え方から実施している。 ・ 毎年度、評価点と成績評定の関係性を確認したうえで改正等を行っており、今後も確認していく。 ・ 良い品質のものを提出していただくためには妥当だと考えている。
<p>簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）</p> <p>③ 全国活断層帯情報整備に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に問題なしとして審議された。 	
<p>簡易公募型プロポーザル方式</p> <p>④ 令和3年度 地理情報標準及び海外の3次元測量制度に関する調査検討業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度の調査検討業務とのことだが、例年同じような発注をしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際標準化機構の専門家委員会が年2回総会を開催しており、国土地理院で毎

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> 例年どのような応募状況か。 	<p>年度動向調査を発注している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受注者は当該規格に関する国内唯一の審議団体となっており、1者応札が続いている。
<p><物品・役務> 一般競争入札方式 ⑤ G N S S連続観測システムの改造（通信機能の強化）</p> <ul style="list-style-type: none"> G N S S連続観測システム関係の発注業務では、本件の受注者の契約が多いが。 他者は契約金額が低い案件しか受注していないようである。本件の受注者しか本システムを扱えないような構造的な状況があるのか。 今回、千百か所くらい無線通信用機器を設置するとのことだが、この年度限りか。 	<ul style="list-style-type: none"> G N S S連続観測システム関連の調達では、他者が受注している実績もある。 全くないとは言えないが、一般的に開発した会社が有利な状況ではあるものの、必ずしも他者ではできないという状況ではない。 約千三百か所設置されている電子基準点のほとんどについては、令和3年度に対応しているが、今後も順次対応する予定である。
<p>一般競争入札方式 ⑥ 標高精度評価プログラム整備業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的な技術とのことだが、受注者以外でも対応できる者はあるのか。 バージョンアップする際に受けてくれる者を探すということか。 	<ul style="list-style-type: none"> 国土地理院が解析して成果を出すためのシステムであり、汎用性がないため受け手がいないが、より高い利益を得られるなら受けてくれる者はいると考える。 データベースとしての繋がりを理解することは必要であるが、1者しかできないということではないので、何年か毎に仕様を変更する際に探すことになる。

意見・質問	回 答
<p>企画競争入札方式</p> <p>⑦ 統合災害情報システムの機能改良業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11者が企画提案書の公募に係る説明書を受領し、興味を持ったとのことだが、入札は1者とギャップがある。過去の受注者が圧倒的に優位になっていると思うが、どのように分析しているのか。 ・ 他者も参入しやすいように、仕様を簡単にするような工夫が必要なのではないか。受注者の都合の良いようになってしまっているのではないか。 ・ 専門家のアドバイスを受けるなり、改善に向け工夫する必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初に受注した者が本システムを構築し、その後、改良を重ねたことにより、システムの複雑になっている。想像であるが、他者は企画提案書の公募に係る説明書を見た上で、無理だと判断されたのではないかと考えている。 ・ 改良する中身は難しいものではないが、システムの全体像を把握する部分に時間を要してしまう。 ・ 工夫できる点があるのか調べてみたい。
<p>随意契約方式</p> <p>⑧ ソフトウェア(PC-MAPPING)の保守</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 143ライセンスとかなりの本数だが妥当性は如何か。 ・ 本件の受注者が保守できる唯一の事業者とのことだが、受注者が保守できないとなった場合はどうするのか。代替手段は考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国土地理院の3つの部で地図作製業務を行っているため、多くのライセンス数を保有しているが、ライセンス数については随時精査している。 ・ 地図編集ソフトについては幾つか選択肢がある。仮に保守ができなくなった場合は、米国製のソフト等もあるので乗り換えていくことになる。